

「ロッキーの 25 日面談」

ロッキーがケアをスタートしてから 25 日が過ぎました。そろそろケア卒業の目安がついてきたということで、ご両親が再訪され、いさどんと面談する機会を持ちました。

いさどん：

もうすこしでケアをスタートしてから 1 ヶ月が経とうとしています。大分病気のことは忘れたのかなと思います、どうですか？

ロッキー：

そうですね。病気のことは忘れていますが、自分の癖がだんだんわかってきて辛い部分があります。人のことを観ていて批判的になってしまったり、悪いところばかり観てしまったり。今、仮にここを卒業しても、「受験勉強を集中してやろう！」という気にはまだなれていないので、どうしたらいいのかなと思っています。

いさどん：

確かに、何かを見た時にそれを批判的に捉えるという傾向はあるかもしれないけれど、批判的にならず、正しく捉えることが出来ればいいよね。ただ、自分に関係のあることについては批判的になりやすいところがありますね。だから、大切なのは、自分に直接関係のあることとないことがあるのだから、人を観察し学ぶためのものと、直接利害があり自分を見直すためのものを見分ける必要があると思います。

トラブルはここでは学びの練習になるけれど、外に出て行った時にトラブルを招くと、今度は自分がそういったことを敬遠してしまって話せなくなる、ということにもなる。そこは、これから大人になって人間関係が広くなると経験していくことです。人とトラブルになった時には、それを勉強してしっかり取り入れさえすれば、そういう経験をしながら人は丸くなっていくものです。若い頃はついつい自分の考えで進んでいって色々と経験する、ということで良いと思います。

「批判的」と自分でも言っているように、自分なりの考えで、全体としてもものをよく観察し捉えています。年齢に関係なく、大事なことは大事なこととして、十分通用する捉え方を彼は持っていると思います。ただ、相手に配慮しないで批判的ということになると、風当たりは多少強くなるかもしれませぬ。そのあたりは経験で身につけていくことです。

今は心の癖のところ、自分の中から湧き出てくる色々な想いをコントロールする練習の最中なのかなと思います。個性を上手に活かしていくために、今のようなことは大いに身につけてもらえればと思っています。彼はここの大人会議でも発言していますし、作業中など日常のところでも皆としっかり心のシェアが出来ていますので、あとは世渡り上手に使いこな

せたらいいと思います（笑）。人と付き合う時にまっすぐだけが良いというわけではないですからね。

お父さんとお母さんから見てどうですか？

お父さん：

ここには色々な方がいらっしゃるの、相手とコミュニケーションを取っていきながら、自分の中で色々な想いを消化していくことが大事なのかなとは思っています。まだ若いですから、知らないことも多くあると思うので、今ある葛藤の部分が良い方向に向いてくれればいいなとは思っています。

おかげさまで、今は薬を飲まなくても落ち着いて過ごしているようですし。

いさどん：

そうですね。こちらから観ても、薬はもう必要ない状態になっていますね。ここは、相手からの反応の良し悪しに関係なく自分の想いをまず出してみ、相手の反応によって自分を知ることが出来るという意味では、良い練習場だと思います。

ここでの残りの時間で、自分がどういうふうに相手と接していて、どうしたら健全な人間関係を築いていけるのかを知ってもらえたらいいと思います。彼の雰囲気としては、知らない人から見たら、「ちょっと気位が高いのかな」という印象を与えるかもしれません。子供たちには評判が良いですが（笑）。彼のことをよく知らない人にとっては、「わからない子」という感じに見えるかもしれません。そのあたりは人それぞれですので、ここでの練習期間で人との付き合い方を身につけてもらえればいいと思います。

お母さんから見たらどうですか？

お母さん：

そうですね。ここで人との付き合い方を学び、これからの人生に活かしていければありがたいです。

いさどん：

息子さんの場合、今どこか具合が悪いからここにいるというよりも、社会で生きていく時に当たり前に必要なとされることを身につけていくということだと思います。彼にはものを観る眼があり、非常に冷静にものを観ていますので、鋭い捉え方が出来ています。最初の面談から伝えていることですが、それを今後大いに活かしてもらえればと思います。彼よりも色々なことを経験している年齢の高い人たちに対してでも、十分に通用する目線を持っていますから。

お父さん：

色々な経験をされてここに行き着いた皆さんと、まだ高校しか出ていない人間では、世間の揉まれ方は全然違うので、そういった部分では息子に動揺する部分もあったとは思いますが、この若さでここに来させていただき、貴重な体験をさせてもらえて感謝しています。

今まででしたら自分のことを叩いて自分を責めていたのですが、今はたまに苦しい時はあったとは聞いていますが、薬も飲まずに過ごしていられるということからすれば、考え方で自分をコントロール出来ているのかなと思います。

いさどん：

それが一番良いやり方です。特効薬のようなものがあれば良いことなのですが、特効薬があって簡単に回復すると、今度は特効薬頼みになってしまいます。ですから、自分の中に自分を調整出来るだけの考え方を身につけることが一番良いのです。

まだ病的なところが残っていた時には、色々なことで動揺するところもあったようですが、今はそこがなくなったようですね。ロッキーの中にはまだそういう心があるのかな？

ロッキー：

正直に言うと、以前話したしゅんくんのこととか、一人になった時にそういうことを考えると、心が苦しくなることもあります。

いさどん：

ただ、そこは克服すべきことだし、不必要なことだからね。

ロッキー：

まだ考え方が完全に変わっていないのかなと思っています。

いさどん：

個性は残っていていいし、考え方もそのままでいいと思うのだけれど、まわりの人と良い形でコミュニケーションが取れて、自分で自分をコントロール出来ればいいね。どこかにモデルがあって「その人になりなさい」ということではなくて、「自分らしく生きていきなさい」ということだから。個性潰しをしたところで何も意味がないからね。

お父さん：

そういう面では、息子もいさおさんと色々な話をさせていただき、いさおさんが苦勞されてきた話も聞いていますので、そういった中で色々な人の考え方を受け入れているのだと思っています。いさおさんも息子の考え方を受け止めながら、息子がいさおさんにキャッチボー

ルをしてもらっていることを、息子の話から感じ取ることが出来ます。また、私がいさおさんと話した中でもそういったことを聞いておりますので、そういった意味では、いさおさんに息子の担当についていただいて良かったと思っております。

いさどん：

そうですね。いさおちゃんも息子さんに対して大変興味を持って接しているものですから、その点は良いサポーターだったと思っています。

お父さん：

色々な人生経験をされてきたこれだけ多くの人とお話し出来ることは、なかなかないですよ。息子の人生にとって、すごく良い出会いであったと思っています。

いさどん：

ここ自体が、個人の心の葛藤や現状について皆で日々学び合う場所ですから。一般社会だとそんなことまで人と話さないということまで、ここでは話せる環境があります。それを皆と共有しながら、どういうふうにして解決していくのか、ということを経験しています。過去に心の問題を抱えていた人は、その分だけ自分の心を掘り下げた経験を持っているわけです。それは、その本人のためになるだけではなく、他の人にとっても良い学びとなり、皆にとって良い学びの環境になるのです。

他にはこのようなところはなかなかないと思います。自分を客観的に捉え物事を正しく観るという意味では、病気のことだけでなく、社会の中で人と付き合うためのスキルの向上には良い場所だと思っています。特に、そういう素質を持っている彼にとっては、プラスになっていると思います。私もそういう意味では彼に期待しているところもあります（笑）。

ロッキー：

このまま行っていたら、将来ものすごい壁にぶち当たっていたと思います（笑）。今は、壁に当たった時の対処法や切り抜け方を学んでいると思っています。

いさどん：

そういう微妙なことを普通の18歳は言わないですよ（笑）。「このまま行っていたら、壁にぶち当たっていたかもしれない」ということを考え過ぎで言っている場合は問題ですが、彼の場合は冷静で滞りのない心があるから、前もってそういう慎重な捉え方が出来ているということです。何でもないように彼は言っているようですが、これはなかなか出来ませんよ。本人にとっては問題事を話しているようですが、これは高く評価出来ます。慎重に物事を捉え、自分が健全でいられるようにブレーキをかけている。彼の場合、ブレーキをかけるがために何も出来なくなっているわけではないですからね。ですから、これは評価出来ることです。そのことに気づくと、出来事や場所によって自信を持って自分でコントロール出来るよ

うになります。

しかし、普通はそこまで考えない人が多いです。お父さんやお母さんから見たら、「何だかわからないけれど、難しく考えているんじゃない？」と思うところかもしれません（笑）。元々その人に身につけている個性ですからね。

お父さん：

前にお話いただいた息子の感性の部分についても、息子も同世代の子といると葛藤があったり、その子たちに流されてしまうところもあったと思います。でも、ここに来てもう一つ上の視点から物事を観ることが出来るようになったのだと思います。今まではそういう機会がなかったので、ただ同世代の子に揉まれるだけで、苦手なタイプの子は避けるしかなかった。ここでは皆さんから、「自分の感性を大切にしてください」と言っていたので、息子も自信を持って生きていけるのかなと思います。

いさどん：

これからは、「自分が何ものなのか」ということを何かの形で知っていくことだと思います。例えば、「自分は調子が悪いから薬がないといけないんだ」と決めつけていたことに対し、知らない間に薬が必要なくなったということは、病気から回復したということではなく、自分の想いの視点や自分に対する評価が変わったからなのです。ですから、彼がケアをスタートした時点から比べると、随分と成長していると思っています。

あとは、ここで残りの期間を過ごしていく中で、「トータルして自分がこういう感じならば、ここを卒業してもやれる」という自信を身につけてくれたらいいと思っています。

ロッキー：

一応、浪人生という立場ではあるので、自分に自信を持って勉強に集中出来るようになればと思っています。塾の先生にも、「8月の途中からでもいいから、一緒に頑張っていこう！」と言ってもらえています。その先生もこのことを知っていて、「そこにいる間は、今後集中して勉強出来るようにしっかりと心身を整えて下さい」と言ってくれています。

今はまだ、人のことを考え過ぎてしまう時があるので、自分の勉強を、自信を持って出来るようになるにはまだまだ時間がかかるとは思います。

いさどん：

今後の見通しとしては、例えば7月一杯までここで過ごし、8月からは受験に向けて熱を入れてやるシーズンですから、そこに合わせてスタートを切れるように持っていくというのはどうですか？

自分に自信をつけ目標を設定して取り組むことが出来るという心の状態になるには、もう少し時間が必要なのかなと思っています。次のことをスタートするには節目というものがあると思うのです。その節目は大切にし、これからの残りの期間で心を仕上げ、そして節目あるスタートを切る。新しい気持ちでスタートを切ってもらえれば良いと思っています。

ロッキー：

正直不安はすごくあるんですけど。。。

いさどん：

そういうことは考えない（笑）。不安なんてものはいくらでも出てくるものだから。そういう想いは打ち消して、まずはやってみることだよ。

ロッキー：

わかりました。とりあえず挑戦してみます。

いさどん：

やってみたら 100 点満点かといったら、その保証はされていないのだから、問題があった時には、それこそ保養にでも一日、二日帰ってきて下さい（笑）。調整出来る場所が出来たと思ってもらえれば良いですね。それくらいの柔らかい気持ちでいけば大丈夫。ただ、帰ってくるのを前提にして臨むというのも問題だけど、ケア卒業後、「やっぱりダメでした」とここに帰ってくる人はほとんどいません。次の生活に移ると行けてしまうものです。進学することでも就職することでも、未知のところに向かおうとする時には不安があるものです。

「見通しは立てるが予定は立てない」という言葉がここでよく使われますが、予定を立て計算し過ぎると、「やらないきゃ」という心が先に働き、自分にすごく負荷をかけることになります。だから、「とりあえず今はこういう状況でここまで見通せるから、見通しが立ったところまで行きましょう。その先の見通しは、行った時に見える景色で立てていきましょう」くらいの気持ちで行くと、楽に行けます。びっちり予定を立て過ぎると、まだそのことが来ていないのに、「ああなる、こうなる」と考える方にエネルギーを消費してしまい、行き詰まったりします。そのあたりはちょっと考え方を変えるだけですから、身につけてもらえばいいと思います。

では、当面、そのような段取りで進めていきましょう。8月まで1週間ありますので、その間に最終調整を積極的に行きましょう。だけど、あせる必要はないからね。それで、8月から新しいスタートを切ってもらえればと思います。これまで順調良く来たと思います。あとは仕上げということで、残りの期間を充実して過ごしてもらえればと思います。

急に卒業が具体的になったから、ちょっと不安になったかな（笑）？

ロッキー：

本当に大丈夫なのかなと。。。

いさどん：

大丈夫かどうかは行って見て判断することだからね。そのあたりももう少し反芻して下さい。

お父さん：

「わからないのが当たり前なんだ」という意識を持つことですよね。

いさどん：

今は不安はあるものですし、先のことはわかりません。不安の中でそこを越えながら生きていくのが人間の常です。苦しくなって立ち止まったらちょっと問題ですから、克服出来るイメージを持ちながら、軽い気持ちで進んでいきましょう。

おとうさん：

そこまで深く考えずに進んでみることですよね。

いさどん：

そうです。問題事はあるに決まっているのですから、それと上手に付き合っていくことが大切です。健康にしても、いつも 100 点満点の健康ではなく、「あそこの具合が悪い、ここの具合も悪い」という人でも、それとキャッチボールしながら日々を送っていくと学びになるものです。心も体も全て 100 点満点でいる人はいませんからね。

そのあたりについて、ロッキーは難しく考えるところがあるから、自分の個性を活かして今後に役に立ててもらえたらいいですよ。私は楽しみにしています。